

弥彦村

文化財

安

跡

めぐり

歴史を知って楽しむ、もっと素敵な弥彦旅。



Cultural property &  
Historic site



## 02



国登録有形文化財

## 彌彦神社本殿はじめ25点



6 拝殿

現在の本殿をはじめとする諸殿舎は、明治45年(1912年)の大火による焼失後に、東京帝国大学(現東京大学)教授であり近代神社建築の泰斗・伊東忠太氏の設計により、5年の歳月をかけ大正5年(1916年)に再建されたものです。平成10年(1998年)、造形の規範となっているものとして有形文化財に登録されました。ちなみにかつての本殿は、現在の宝物殿のあたりにありました。



1 本殿



2 石廊下

3 瑞垣(本殿周囲透堀)  
(みずがき)4 幣殿(奥) 5 祝詞舎(手前)  
(へいでん) (のりとしや)

7 神饌所(しんせんじょ)



8 伺候所(しこうしよ)



9 草薙神社(くさなぎじんじや)



10 今山神社(いまやまじんじや)



11 乙子神社(おとこじんじや)



12 狛犬

13 舞殿(右) 14 楽舎(左)  
(ぶでん) (がくしゃ)15 参集殿(旧拝観所)  
(さんしゅうでん)16 斎館(旧勅使館)  
(さいかん)

17 神木石柵



18 二之鳥居



19 手水舎(てみずしゃ)



20 神符授与所(しんぷじゅよしよ)



21 絵馬殿

22 一之鳥居 23 制札台(左)  
(せいさつだい)

24 石橋



25 鼓楼(こうろう)



国指定重要文化財／建造物

## ● 十柱神社社殿 (としらじんじゃでん)

元禄7年(1694年)に、長岡藩主牧野氏より奉納されました。明治45年(1912年)に起きた彌彦神社の大火から難を逃れたこともあり、桃山文化末期の様式を伝える梁などに施された数々の彫刻を見ることができます。



国指定天然記念物

## ● 蜀鶏 (とうまる)

新潟県で古くから飼育されてきた鶏で、日本三大長鳴鶏の一つに数えられています。彌彦神社境内の日本鶏舎で見ることができます。

彌彦競輪場付近



県指定文化財／天然記念物

## ● 彌彦参道杉並木

旧北陸道(北国街道)の両脇に植えられた、彌彦神社の参道を形成する杉並木。樹齢400年から500年以上といわれています。

(株)イワツキ付近



## ● 彌彦神社競技場碑

彌彦神社競技場は、大正8年(1919年)に開場した日本で初めての400m走路のグラウンドです。その後、昭和24年(1949年)に競輪場となり現在に至っています。碑は競輪場入口近くの一角に建ち、文字は講道館創始者で当時の大日本体育協会会長であった嘉納治五郎によるものです。

## 彌彦神社宝物殿

彌彦神社に伝わる宝物と古文書のほか、新潟県出身の芸術家・文化人の作品を展示しています。

■ 9時～16時(月曜休館)、1月～2月閉館

■ 料 大人300円、大学生・高校生200円、小中学生100円



国指定重要文化財／工芸品

## ● 大太刀 附 革鐔 (おおたち つけたりかわつば)

応永22年(1415年)に製作された刃渡り約2.2mを誇る刀です。湾刀(まがりがたな)としては国内最大級の刀で、付属の丸鐔(つば)や鉄はばきなどとともに貴重な名品です。



県指定文化財／工芸品

## ● 砧青磁袴腰大香炉 (きぬたせいじはかまごしだいこうろ)

中国南宋時代に焼かれ渡来したもので、日本国内に現存する青磁の香炉の中でも最大級です。慶長16年(1611年)に高田藩城主の松平忠輝が奉納しました。



県指定文化財／工芸品

## ● 鏡鞍 附 壺鐙 (かがみくらつかけたりつばあぶみ)

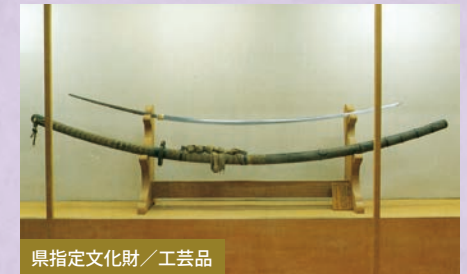
源義家が天喜5年(1057年)の奥州征伐に赴く際、彌彦神社に参拝し献納したと伝えられています。平安朝の様式を色濃く残す名品です。



国指定重要文化財／工芸品

## ● 鉄仏餉鉢 (てつぶつしょうばち)

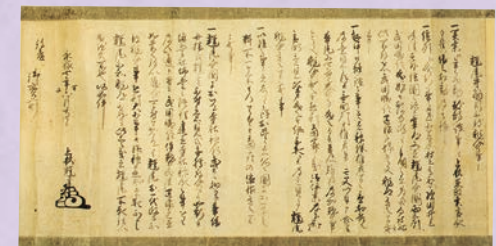
口径約60cm、高台まで含めた高さは約40cmという大ぶりの鉄鉢で、鎌倉時代末期に越後国奥山荘(旧北蒲原郡中条町付近)の有力者より奉納されました。



県指定文化財／工芸品

## ● 大太刀 拵共 (おおたち こしらえとも)

天保14年(1843年)に高田の刀工が鍛え奉納しました。鞘巻(さやまき)太刀と呼ばれる作りの全てが、越後の工匠の手による貴重な太刀です。



県指定文化財／書跡・典籍

## ● 上杉輝虎祈願文 (うえすぎえとらときがなんもん)

永禄7年(1564年)に上杉謙信が奉納した願文で、関東・信濃・越中への出兵の理由が記されるなど、謙信に関する文書の中でも最も重要なものとして知られています。



### ● 摂社・末社 (せつしゃ・まつしゃ)

彌彦神社の神様の子孫が6代にわたりまつられた摂社と、彌彦神社と縁深い国内の著名な神社の祭神がまつられた末社。摂社には社殿とともに御神廟(墳墓)があります。



### ● 玉の橋 (たまのはし)

境内を流れる御手洗川に架かる半円形の橋で、別名「御神橋」(ごしんきょう)とも呼ばれています。神様が渡る神聖な橋であり、人は決して渡ることはできません。



### ● 御神木 (ごしんぼく)

彌彦神社の神様が越後国開拓のためにこの地へお出でになった際に、地面に立てた杖が繁茂し大樹になったことから彌彦神社の位置が定まると伝わる、まさに御神木です。



### ● 津軽火の玉石 (つがるひのたまいし)

津軽藩が奉納したと伝わる石占(いしうら)で、持ち上げたときの重量感で吉凶を占うものです。「重い軽いの石」とも呼ばれ、今も熱心にお祈りする人が絶えません。



### ● 鹿苑 (しかえん)

『万葉集』にある彌彦神社の歌(「伊夜比古 神の麓に 今よりもか 鹿の伏するむ皮衣きて 角つきながら」)にちなみ、縁深いものとして飼育されています。



### ● 桜苑 (さくらえん)

彌彦神社東参道入り口に広がる桜の名所です。鬱金(うこん)や楊貴妃、一葉など、50種にもおよぶ品種を鑑賞できます。



### ● 万葉の道 (まんようのみち)

『万葉集』に彌彦神社を詠んだ歌が収められていることにちなみ付けられた散策路。万葉の歌に詠まれている草木のうち、約70種を鑑賞することができます。



### ● 相撲場 (すもうじょう)

平成27年(2015年)、御遷座100年の記念事業として建設された本格的な相撲場です。奉祝行事の相撲場開きでは、横綱による土俵入りが行われました。



### ● 弓道場 (きゅうどうじょう)

御遷座100年の記念事業の一環として改修されました。武勇に秀でた彌彦神社の神様にちなみ、新年にはその年の五穀豊穡と除災招福を祈念する「弓始神事」が執り行われます。



### ● 祓戸神社 (はらえどじんじや)

彌彦神社の末社で、祓戸の神様は境内全域を見渡して、入り込む不浄なものや訪れる人々の罪、けがれ、過ちを祓い除くと伝えられています。



### ● 下諏訪神社 (しもすわじんじや)

彌彦神社の東下手、桜苑の北隣に鎮座する彌彦神社の境外末社で、「下のお諏訪様」と呼ばれています。かつては葦が生えたため池のような沼があったと伝わります。



県指定文化財／天然記念物

## ● 婆々杉 (ばばすぎ)

彌彦神社に隣接する宝光院の裏山にそびえる、樹齢約1000年の大杉です。「婆々杉」と呼ばれ、弥三郎婆さの伝説を伝えています。

みょうたら てんによ

## 妙多羅天女と婆々杉伝説

今から遠い昔のお話です。鍛冶屋の弥三郎と大工棟梁の間で、彌彦神社造営の上棟式奉仕の日取りについていさかいが起きました。これに負けた弥三郎の母(祖母とも)は、無念のあまり恨みの念が高じて悪鬼となりました。ついには諸国で悪行の限りをつくすようになり、「弥彦の鬼婆」と恐れられたといひます。それから数十年後のことです。大杉の根元に横たわる悪鬼と化した老婆を見つけた弥彦の高僧が、本来の善心に立ち返るよう説教し、さらに「妙多羅天女」の称号を与えたところ改心したといひます。その後は神仏、善人、子どもの守護に尽くしたので、村人はこの大杉を「婆々杉」と呼ぶようになったと伝えられています。



村指定文化財／工藝

## ● 鰐口 (わにぐち)

刻銘から明応5年(1496年)に彌彦神社に奉納されたことがわかる鑄鋼の鰐口です。新潟県下に残る中世の鰐口の中では最大です。明治末の弥彦大火後、宝光院に移り現在に至ります。

※常時公開はしていません



県指定文化財／彫刻

## ● 木造多聞天立像 (もくぞうたもんてんりつぞう)

高さ約190cmでいかめしく胸を張り、脚を踏んだ姿。胸内面に梵字や背面には年号などが示されており、鎌倉期の彫刻の特徴が見て取れます。木像は宝光院にて安置されています。



村指定文化財／天然記念物

## ● ヤヒコザクラ

ハクサンザクラの変種で、日本における桜の大家、三好学博士によって大正9年(1920年)に命名され、一般に公表されました。全国的に見ても貴重な一株とされます。



## ● 弥彦山ロープウェイ

境内を散策したら山麓駅から「弥彦山ロープウェイ」に乗って約5分の空中散歩へ。山頂公園から見渡す四季折々の風景は心を洗う美しさです。



村指定文化財／史跡

## ● 桔梗城跡 (ききょうじょうあと)

弥彦丘陵群の城山と呼ばれる峰に残る城跡。平安時代天喜年間(1050年代)に、源頼光の一族であった弥彦庄司吉川宗方が築いたとされ、空堀、館跡や曲輪跡などが残ります。



## ● 御神廟 (ごしんびょう)

ロープウェイ山頂駅から徒歩15分の弥彦山山頂に鎮座する、彌彦神社の奥宮。「おやひこさま」が夫婦仲良くまつられていることから、縁結びの名所として知られています。



## ● 弥彦競輪場

彌彦神社に隣接する村営の競輪場です。近年では女子選手が活躍する「ガールズケイリン」も開催されています。手に汗握るレース展開がファンを魅了しています。



村指定文化財／天然記念物

## ● 菊咲きオクチョウジザクラ

2段咲きの花の寿命は約1カ月と長く、しかも現形のままだぼんで落ちるのが特徴です。現在国内に残るこの種のオクチョウジザクラの原木であり、極めて貴重な一株です。

※一般公開はしていません

## ◆ 弥彦湯かけまつり

春



弥彦温泉発祥の地と伝えられる湯神社から、御神湯をいただき奉納する春の神事です。幾千年の昔から湧く霊泉の御神湯を湯曳き車に乗せ、青笹に含ませた御神湯で災厄を祓いながら、弥彦駅から神社まで練り歩きます。



秋

## ◆ 弥彦菊まつり

彌彦神社をしっかりと彩る11月の風物詩。県内外の菊の愛好家とその腕を競い合う菊花展覧会としては、質、出品品目ともに全国屈指と評されます。毎年テーマを決めて制作される「大風景花壇」は、菊まつりの見どころの一つとなっています。



## 四季に息づく 祭りや文化

## ◆ 弥彦燈籠まつり

夏

国重要無形民俗文化財



7月25日を中心に行われる弥彦夏の火祭です。県内各地の大燈籠講中が2基の御神輿を中心に展開する大燈籠巡行や子ども燈籠押し、大燈籠巡行に華を添える奉納花火大会などが行われ、温泉街が活気に包まれます。



冬

## ◆ 二年詣・初詣

年間100万人を超える参拝客が訪れる彌彦神社。特に12月31日～1月1日の夕方までは最高の人出を見せます。一年の締めくくりと新しい一年のスタートは、訪れるほどに奥深い越後一宮で心清らにご参拝を。



国指定重要無形民俗文化財

## ● 彌彦神社燈籠おし

1000年の歴史を誇る燈籠神事で、かつては旧暦の6月14日を中心に行われましたが、昭和36年(1961年)から現行の7月25日に行われるようになりました。神輿・大燈籠の渡御巡行や、摂社・末社の前で披露する神歌、一社秘伝の舞は、見るものを悠久の世界へと誘います。



国指定重要無形民俗文化財

## ● 舞楽

彌彦神社に伝わる舞楽は、春の妃神例祭に舞われる大々神楽をはじめ、正月の夜宴神事と2月の神幸神事に舞われる小神楽、神歌楽(かがらく)の舞、天犬(あまいぬ)の舞からなります。神歌楽の舞と天犬の舞は一社秘伝の舞で、7月25日の夜に拝殿前に設けられた舞殿のみで舞われます。



温泉街や駅周辺に点在する  
名所・旧跡に  
新しい出会いを求めて。





### ●明治天皇行在所跡

明治11年(1878年)の明治天皇北陸御巡幸の際に、明治天皇が御宿泊された行在所跡に立てられた碑。建物は明治45年(1912年)の弥彦大火で焼失してしまい、現在は庭園が築かれています。



### ●聖人清水

弥彦神社門前町の旧庄屋林部家の裏にあります。弥彦の地を訪れた親鸞聖人が水不足に苦しむ民を哀れみ、持っていた杖で竹やぶを突いて念じたところ、こんどと清水が湧き出してきたと伝えられています。



国登録有形文化財／建造物

### ●旧鈴木家住宅主屋・土蔵

明治11年(1878年)明治天皇北陸御巡幸で弥彦御宿泊の時、右大臣岩倉具視が宿泊した社家住宅。大正5年(1916年)弥彦神社御造営に伴って現在地に移築されました。



## 聖人清水伝説

浄土真宗の祖・親鸞聖人が承元元年(1207年)に越後の国府(現上越市五智)へ配流の身となった際、在住中に弥彦神社を参拝しました。その時に宿泊したのが、庄屋林部家でした。ある日、近くの川から水を汲み上げ運んでくる老女を見た親鸞は、林部家裏の竹林の一隅を持参の杖で突いて仏に念じました。すると、たちまち水が湧き出したと伝えられています。人々はこの親鸞の徳を喜び、以後「聖人清水」と呼ぶようになりました。



県指定文化財／天然記念物

### ●住吉神社・蛸ケヤキ

弥彦神社末社の住吉神社の社殿は、弥彦明訓校が廃校の折に現在の地に移されたと伝えられています。その小祠を覆うように立つ老木が蛸ケヤキです。樹齢800年以上とされ、巨幹から地上近くに大枝が八方に広がる姿から、そう呼ばれるようになりました。



### ●明訓校之址碑

明治16年(1883年)、国学、儒学の精神を根底に、国家に有為の人材を育成する目的で開校した弥彦明訓校。明治天皇から御手許金が下賜されたほどの栄誉を今に伝えています。



### ●火宮神社(ひのみやじんじや)

弥彦神社の境外末社で、火防(ひぶせ)の神がまつられています。弥彦は数度の大火に見舞われたため、火防・鎮火の意味で火宮としてまつり、人心を安定させたと伝わります。



### ●上諏訪神社(かみすわじんじや)

弥彦神社の境外末社で、境内に樹齢約1000年の大ケヤキが立っています。災いを防ぐ神として崇められ、下諏訪神社と隔年で力士の土俵入りが奉納されます。



### ●弥彦駅舎

弥彦神社社殿を模して弥彦線開通の翌大正6年(1917年)に建てられました。入母屋造、朱塗りの柱に白壁が特徴的。新潟県の近代化遺産のひとつです。

国登録有形文化財／建造物



### ● 弥彦公園トンネル

大正時代に造園した当時のままのトンネルです。公園の低い山を切り開いて造ったトンネル部分に土を盛り、山を再現するという工法が用いられました。



### ● 湯神社

弥彦神社の末社で、その昔温泉が湧き出ていたと伝わることから弥彦温泉の源といわれています。弥彦の春を告げる「湯かけまつり」の御神湯はここから運ばれます。



### ● 弥彦公園

弥彦線の開通を記念して、大正7年(1918年)に造成された公園です。弥彦山を借景とした約4万坪もの園内には、池や溪谷に観月橋、トンネルなどがあります。特に春のお花見や秋の紅葉狩りの名所として知られ、見頃を迎える時期は多くの人でにぎわいます。



### ● 大銀杏

旧弥彦村役場の跡地に立つ老木で、樹齢約300年を数えます。葉が落ちると、あたり一面が黄色い絨毯を敷き詰めたように美しく彩られます。



### ● おもてなし広場

農作物直売所やフードコート、スイーツ店、土産物店などが軒を連ねるほか、源泉掛け流しの足湯がある人気の観光スポットです。



### ● ヤホール

平成25年に開設した防災機能付き多目的施設。村のイベント会場として、お祭りの日などには人々で賑わっています。



### ● 観光案内所

弥彦村の観光や物産についての情報なら何でも分かる観光案内所。弥彦を訪れたらまず立ち寄ってみてください。



### ● 湯のわ

弥彦駅前の広場に立つ足湯スポット。弥彦湯神社温泉の源泉が注がれた八角形の湯船で、文化財・史跡めぐりの疲れを癒やしましょう。



玉兎

## 玉兎伝説

遠い神話の時代、弥彦山に棲んでいた多くのウサギが里に下りてきては田畑を荒らすため、弥彦大神がウサギに田畑を荒らし村人を苦しめぬよう諭しました。それ以来、ウサギは里へ下ることがなくなりました。銘菓「玉兎」は、このときに神様から諭され、丸くかきこまったウサギの姿を模したものだといわれています。

全ては  
弥彦の地へと結びつく。  
遥かなる時の歩みに  
思いをめぐらす。





村指定文化財／建造物



国登録有形文化財

薪小屋



国登録有形文化財

味噌蔵

### ●旧武石家住宅 主屋／味噌蔵・薪小屋

茅葺の中農民家を建築当初の姿に解体復元しました。建築年代が江戸時代中期とされる主屋は、大工など専門家が加わったところもありますが、全体として結(ゆい)と呼ばれる農村での助け合いといった、社会慣行が見受けられる貴重な建物です。味噌蔵は明治初期、薪小屋は昭和初期に建てられたもので、「国土の歴史的景観に寄与しているもの」として国の登録有形文化財に登録されました。



### ●旧北国街道

寺泊から猿ヶ馬場峠を越え、弥彦・角田山麓を通り、巻・赤塚を経て旧新潟町に至る街道です。弥彦は旧北国街道の宿駅としても、大いににぎわいを見せました。



### ●稚児道

彌彦神社から国上寺まで、北陸道(北国街道)の山側に見え隠れするように通っている古道です。国上寺の稚児が彌彦神社への往復に通った道で、現在は麓と観音寺にその一部を偲ぶことができます。



村指定文化財／史跡(遺物包含地)

### ●一本杉遺跡

縄文時代中期～後期の遺跡です。住居の柱跡が確認されているほか、土器片や石矢尻、石斧、ヒスイ、メノウなどが出土していますが、遺跡の全容は不明のままです。現在は史跡公園として保存されています。



### ●弥彦村ふるさと学校 (公民館麓支館)

弥彦村公民館麓支館内にある、体験型の民俗資料の展示施設です。小学校だった校舎を利用した展示室は、昔の教室を再現した「まなぶ部屋」、農具を体験できる「はたらく部屋」、昔の農家の生活を再現した「くらす部屋」から構成されています。



### ●桜井神社

彌彦神社の摂社で、弥彦の神様が野積浜に上陸してから弥彦の地へ移るまでの間、この地の清涼な泉でみそぎをしました。現在も桜井と呼ばれる清水が湧き出しています。



村指定文化財／歴史資料

### ●宝篋印陀羅尼塔 (ほうきょういんだらにとう)

猿ヶ馬場峠に立つ巨大な石塔で、寺泊港の本間弥平次ほか2人が先祖百歳忌・父母五十回菩提などのために建てたものです。建立後250年余を経た今も当時の姿をとどめています。



弥彦山を仰ぎ、大鳥居をくぐる。  
いにしえから続く村の記憶をたどる。



村指定文化財／建造物



●法圓寺 鐘楼・山門 (ほうえんじ しょうろう・さんもん)

山門改築は安政元年(1854年)、鐘楼改築は同3年(1856年)にされ、棟梁は間瀬大工篠原嘉左衛門と伝わります。各所に渦巻型彫刻や獅子頭などが多用されているように見受けられますが、山門には不似合いなほど太い構造材が豪快かつ複雑に構成されています。当時の大工技術の高さをうかがわせる建物です。

## 矢作二本松 義経伝説

鎌倉幕府を開いた兄・源頼朝と不和になり、幕府から追われる身となった源義経が、弁慶とともに奥州に落ち延びる途中、この二本松の根元で休息したという伝説が残ります。二本松は別名「義経弁慶腰掛の松」とも呼ばれています。



村指定文化財／天然記念物

## ●矢作の二本松

弥彦村役場のすぐ西手にある老木で、幹および高さはそれぞれ5.45m、枝は36m四方に広がっています。源義経と弁慶ゆかりの松と伝えられています。



村指定文化財／史跡(古墳)

## ●稲場塚古墳(いなばづかこふん)

井田丘陵にある前方後円墳。墳長26.3m(菖蒲塚古墳の1/2)、高さ1.72m～1.28mの柄鏡形で、越後では最も古い部類に属する前期古墳です。土師器片やガラス小玉が発掘されました。



村指定文化財／無形民族文化財(芸能)

●矢作奉納里神楽舞(やはぎほうのうさとかがりまい)  
昭和初期に彌彦神社より、関係の深い矢作の赤崎神社へ舞衣装が下されたことを機に、国上村(現燕市分水)より里神楽が伝承されました。現在、宮清祓(みやきよばらい)、地久楽(ちきゅうらく)、田の神(たのかみ)、真苗(まなひ)など13舞が伝わっており、毎年5月の矢作神社祭礼当日に、特設舞殿で奉納されています。



村指定文化財／歴史資料

●大戸神社算額(おおとじんじゃさんかく)  
算額は神社や仏閣に数学(和算)の問題や、解き方を額に書き奉納されたものです。大戸神社の算額は県内に残る8面のうちの2額で、文政11・13年(1828・1830年)の奉納です。年代的にも新発田の菅谷寺算額に次ぐ歴史資料として評価されています。  
※常時公開はしていません



●大鳥居  
昭和57年(1982年)の土越新幹線開通にあわせて建立されました。彌彦神社の一の鳥居を拡大したその大きさは、親柱の直径が2.2m、高さ30.16m、笠木の幅は38.5m、掲げる社号額は量12枚敷を誇ります。

弥彦村 文化財・史跡一覧

| 区分     | 番号 | 種別    | 名 称            | 指定年月日     |
|--------|----|-------|----------------|-----------|
| 国指定文化財 | 1  | 建造物   | 彌彦神社境内末社十柱神社社殿 | T6.8.13   |
|        | 2  | 工芸品   | 大太刀 附 革鐙       | S4.4.6    |
|        | 3  | 工芸品   | 鉄仏餉鉢           | S34.12.18 |
|        | 4  | 民俗芸能  | 彌彦神社燈籠おしと舞楽    | S53.5.22  |
|        | 5  | 天然記念物 | 蜀鶏(とうまる)       | S14.9.7   |
| 県指定文化財 | 1  | 彫刻    | 木造多聞天立像        | S41.3.18  |
|        | 2  | 工芸品   | 砧青磁袴腰大香炉       | S29.2.10  |
|        | 3  | 工芸品   | 大太刀 拵共         | S30.2.9   |
|        | 4  | 工芸品   | 鏡鞍 附 壺燈        | S39.3.22  |
|        | 5  | 書跡・典籍 | 上杉輝虎祈願文        | S44.3.25  |
|        | 6  | 天然記念物 | 彌彦の婆々スギ        | S27.12.10 |
|        | 7  | 天然記念物 | 彌彦の蛸ヶヤキ        | S27.12.10 |
|        | 8  | 天然記念物 | 彌彦参道スギ並木       | S32.3.29  |
| 村指定文化財 | 1  | 建造物   | 旧武石家住宅         | H5.2.5    |
|        | 2  | 建造物   | 法圓寺鐘樓・山門       | H13.11.30 |
|        | 3  | 工芸品   | 鰐口             | S63.3.10  |
|        | 4  | 考古資料  | 縄土器 注口瓶        | S62.3.10  |
|        | 5  | 歴史資料  | 大戸神社算額         | S61.3.10  |
|        | 6  | 歴史資料  | 大戸神社算額         | S61.3.10  |
|        | 7  | 歴史資料  | 法篋印陀羅尼塔        | S61.3.10  |
|        | 8  | 民俗芸能  | 矢作奉納里神楽舞       | S50.11.7  |
|        | 9  | 史跡    | 桔梗城跡           | S50.11.7  |
|        | 10 | 史跡    | 黒滝城跡           | S50.11.7  |
|        | 11 | 史跡    | 稲場塚古墳          | H6.12.9   |
|        | 12 | 史跡    | 一本杉遺跡          | H6.12.9   |
|        | 13 | 天然記念物 | 矢作の二本松         | S50.11.7  |
|        | 14 | 天然記念物 | 菊咲きオクチョウジザクラ   | S54.4.10  |
|        | 15 | 天然記念物 | ヤヒコザクラ         | S54.4.10  |

| 区分       | 番号 | 種別  | 名 称           | 指定年月日     |
|----------|----|-----|---------------|-----------|
| 国登録有形文化財 | 1  | 建造物 | 彌彦神社本殿        | H10.9.2   |
|          | 2  | 建造物 | 彌彦神社幣殿        | H10.9.2   |
|          | 3  | 建造物 | 彌彦神社祝詞舎       | H10.9.2   |
|          | 4  | 建造物 | 彌彦神社拝殿        | H10.9.2   |
|          | 5  | 建造物 | 彌彦神社神饌所       | H10.9.2   |
|          | 6  | 建造物 | 彌彦神社瑞垣・裏門     | H10.9.2   |
|          | 7  | 建造物 | 彌彦神社伺候所       | H10.9.2   |
|          | 8  | 建造物 | 彌彦神社摂社乙子神社    | H10.9.2   |
|          | 9  | 建造物 | 彌彦神社摂社今山神社    | H10.9.2   |
|          | 10 | 建造物 | 彌彦神社摂社草薙神社    | H10.9.2   |
|          | 11 | 建造物 | 彌彦神社一之鳥居      | H10.9.2   |
|          | 12 | 建造物 | 彌彦神社石廊下       | H10.9.2   |
|          | 13 | 建造物 | 彌彦神社舞殿        | H10.9.2   |
|          | 14 | 建造物 | 彌彦神社楽舎        | H10.9.2   |
|          | 15 | 建造物 | 彌彦神社参集殿(旧拝観所) | H10.9.2   |
|          | 16 | 建造物 | 彌彦神社二之鳥居      | H10.9.2   |
|          | 17 | 建造物 | 彌彦神社手水舎       | H10.9.2   |
|          | 18 | 建造物 | 彌彦神社斎館(旧勅使館)  | H10.9.2   |
|          | 19 | 建造物 | 彌彦神社鼓楼        | H10.9.2   |
|          | 20 | 建造物 | 彌彦神社絵馬殿       | H10.9.2   |
|          | 21 | 建造物 | 彌彦神社制礼台       | H10.9.2   |
|          | 22 | 建造物 | 彌彦神社神符授与所     | H10.9.2   |
|          | 23 | 建造物 | 彌彦神社神木石柵      | H10.9.2   |
|          | 24 | 建造物 | 彌彦神社石橋        | H10.9.2   |
|          | 25 | 建造物 | 彌彦神社狛犬        | H10.9.2   |
|          | 26 | 建造物 | 旧武石家住宅 味噌蔵    | H10.12.11 |
|          | 27 | 建造物 | 旧武石家住宅 薪小屋    | H10.12.11 |
|          | 28 | 建造物 | 弥彦公園トンネル      | H23.7.25  |
|          | 29 | 建造物 | 旧鈴木家住宅 主屋     | H28.8.1   |
|          | 30 | 建造物 | 旧鈴木家住宅 土蔵     | H28.8.1   |



五



発行／弥彦村教育委員会

〒959-0323 新潟県西蒲原郡弥彦村弥彦2487-1 TEL.0256-94-4311



弥彦村役場  
〒959-0392  
新潟県西蒲原郡弥彦村矢作402  
TEL. 0256-94-3131



弥彦観光協会  
〒959-0323  
新潟県西蒲原郡弥彦村弥彦971-4  
TEL. 0256-94-3154